



6月市議会で一般質問を行う板橋ひろみ議員、ふじしまともこ議員の質問項目をお知らせします。 みなさんの声を市政に届け、暮らしを守り、福祉や教育の充実にむけ頑張ります。



板橋ひろみ議員

6月15日午3時から

1 地方自治体として憲法を守り平和と人権を遵守すること

- ① 外国人の人権を守り地域社会で共生していける川口市を
- ② 「核兵器のない世界」を実現するために
 - ア 核兵器禁止条約に参加するよう国に求めること
 - イ 川口市平和展で核兵器の恐ろしさを後世に語り継ぐこと
 - ウ 広島・長崎の平和式典等へ子どもたちを派遣すること
 - エ 平和首長会議に参加するにあたって
 - オ 川口市平和都市宣言を市民に周知すること

2 市民が主人公と実感できる市政運営を

- ① 「住民自治」を推進するための地域自治区制度として地域協議会の設置を
- ② 当日投票所の拡充を

3 高齢者のだれもが安心して自分らしく暮らせる日常生活のために

- ① 加齢性難聴の補聴器購入助成制度の早期実施を
 - ア アンケート調査結果について
 - イ 実態把握の取り組みについて
 - ウ 補聴器購入助成制度を早期実施すること
- ② 高齢者が自ら運転しなくてもいい環境づくりを
 - ア 高齢ドライバーに対する意識調査について
 - イ 高齢者タクシー利用助成事業実施に向けた検討を

4 いつでもどこでもだれでも安心して医療にかかることができる川口市へ

- ① 健康保険証廃止を撤回しいのちを守るために
 - ア 公立病院での資格確認システムにかかわって
 - (ア) 川口市立医療センターについて
 - (イ) 安行診療所について
 - イ 高齢者総合福祉センター サンテピアでの入所者の健康保険証の管理について
 - ウ 健康保険証等の今後の発行について
 - エ 健康保険証廃止を撤回するよう国に求めること
- ② 高すぎる国民健康保険税の子どもの均等割額の減免制度の拡充を

ア 市独自の多子世帯の子どもにかかる均等割額の減免制度について

- (ア) 減免申請の周知徹底を
 - (イ) 対象を第2子までに拡充すること
 - イ 国に対し子どもの均等割額をなくすよう求めること
- ③ 子どもの医療費無償化を18歳まで拡充すること

5 学校通学路での交通事故から子どもたちを守る対策について

- ① 通学路の点検状況と改善について
- ② 教育委員会として年度途中の実態把握を

6 一人ひとりの子どもの成長を最優先にできる職場環境の改善を

- ① 教員が安心して教育者の誇りをもって働ける条件整備を
 - ア 本市の教員配置状況について
 - (ア) 新年度の教員配置について
 - (イ) 年度途中の代替について
 - イ 長時間労働について
 - ウ 教員確保に向けた県への働きかけについて
- ② 保育士が安心して働き子どもたちに豊かな保育を実施するために
 - ア 民間保育所の運営費にかかわって
 - (ア) 運営費の人件費率の実態について
 - (イ) 人件費率を上げるための対策について
 - イ 保育士配置基準について
 - (ア) 市の配置基準について
 - (イ) 保育士配置基準を見直し運営費の増額を国に求めること

ふじしまともこ議員

6月20日午前10時から

1 有機フッ素化合物（P F A S）について水道水の水質検査と結果の公開を

2 水道料金の値下げについて

- ① 水道料金を値上げ前の料金にすること
- ② 水道料金値下げのためのコスト削減について
- ③ 低所得世帯の恒久的減免制度を作ること
- ④ 国からの財政支援の拡充を実現するために

3 エネルギーと資材と物価の高騰対策について

- ① 住宅改修資金助成金制度の更なる拡充について
 - ア 財政措置をして受け付けを追加すること
 - イ 繰り返しして制度を利用できるようにすること
- ② 商店改修事業補助金について

4 子どもと地域を健やかに育てる学校給食について

- ① 給食費無償化を実施すること
- ② 学校給食への地元農産物のさらなる活用を

5 障害児・者に優しい行政を

- ① インクルーシブ教育について
 - ア 小中学校の取り組みについて
 - イ インクルーシブ教育の周知について
- ② 特別支援学級の全校設置を急ぐこと
- ③ 肢体不自由児のための学校設置について

6 消費税減税とインボイス制度に関わって

- ① 消費税5%へ減税を国に働きかけること
- ② インボイス制度に関わって
 - ア インボイス制度の中止を国に働きかけると
 - イ 廃業者や失業者の増加に市として支援策を講じること
 - ウ 公契約の発注の際に免税業者を排除しないこと

7 市民が安心して出かけられるようにするために

- ① 道路の標識や標示の補修を急ぐこと
- ② 公園のトイレについて
- ③ シルバーパスについて

新川口

金子ゆきひろ 松本さちえ

2023年6月18日

No.1703

日本共産党川口市議会議員団

川口市前川2-28-10

TEL.267-8411 FAX.261-3528

<https://www.kawaguchi-jcp.jp/>

板橋ひろみ ふじしまともこ

6月市議会開会前の議会運営委員会に、
日本共産党市議団は「インボイス制度の延期を求める意見書」
「難民保護制度の改善を求める意見書」の2本の意見書案を提案しました。
全会一致となるよう頑張ります。
先週に続き、今号では、「難民保護制度の改善を求める意見書」の
案文を紹介します。

「難民保護制度の改善を求める意見書」(案)

欧米諸国と比べて極端に低い日本の難民認定率、在留資格を失った外国人を原則全員收容する全件收容主義、入管施設における人権侵害、適切な医療措置へのアクセスの欠如、就労の禁止など、我が国の難民保護制度は1998年以降、国連から繰り返し難民条約違反であると勧告を受け、改善が求められている。

日本の法制度において行政の判断だけで無期限の身体拘束が可能なのは入管收容以外になく、收容に司法審査がないことは国家権力の乱用を防ぐために令状主義を定めた憲法33条の趣旨に反している。

そもそも、難民の要保護性を判断する難民審査と不正調査や、收容・送還を主な業務とする入国審査を同じ組織の下で行なっていることは構造的な矛盾である。独立性がある第三者機関が難民認定を行い、收容に上限を設け、收容の必要性・合理性の判断に司法審査を必要とすべきである。

本市で生活する難民申請者や仮放免者についても、経済的な困窮や住居の確保など、生活を維持していくことが深刻となっており、市長自ら法務相に入国管理制度の改善を求める要望書を提出し、就労、健康保険などを国の責任でできるように判断を求めてきたところである。

よって、政府は難民保護制度の改善を行い、外国人の基本的な人権についても保障するよう求める。

川口社会保障推進会 第25回総会を開催

6月10日(土)、川口社会保障推進協議会(以下・社保協)の第25回定期総会が開催されました。前半の学習会では「軍事費の拡大ではなく、社会保障の充実を～社会保障情勢と川口市社保協へ期待するもの～」のテーマで、埼玉県社保協の段和志事務局長が講演を行いました。

社会保障の削減に伴い、精神疾患や自殺者が増加している事や生命保険の加入が増えている事などを示し、社会保障削減によって社会不安に陥っていることをグラフで示しました。そして、社会保障は「自助」や「共助」ではなく公の責任で行うものであり、国民が声を上げていく事が大切であると締めくくりました。

後半の総会では、高井純一新会長が「会長はみんなのまとめ役」という決意を語り会場は拍手にまつまれました。

そして、2022年の取り組みではコロナ禍で行われていた電話相談から、対面による「命と暮らし



を守るなんでも相談会」を他団体と協力しあって開催できたとの報告があり、また統一地方選挙で投票率が低かったことから、市民への周知を増やす必要があるため通信の発行を2回から4回に倍増する方針の提案がされました。

団体交流では年金者組合から、兵庫県川西市による子育て支援の5つの無償化が紹介されました。川西市は川口市よりも財政規模が小さい自治体ですが、議会のたびに「議会だより」が発行され、議会の市民への情報公開が進んでいる事が川口市との大きな違いであると指摘がありました。医療生協さいたまからはフードパントリーに物品を取りに来る人が後をたたない事、若い人も多く、地域からの寄付が少なくなっている厳しい現状を市や県に訴えて国に繋ぐことや、水道料金値上げに反対する川口市民の会からは、6月中に署名提出に行く事と6月21日にPFAS学習会と映画上映を行う予定、また生活と健康を守る会からは去年は120件も相談があり、高齢者がギリギリまで働いて、いよいよ働けなくなって相談に来るケースが多いことなど、活発な発言・報告が行われました。最後に党市議団から松本さちえ市議と、ふじしまともこ市議が挨拶をしました。